

平成30年12月19日

平成30年度 学校評議員・地域の皆様と生徒会執行部生徒との合同懇談会

15:40～

司会 柳沢先生

1 開会のことば（教頭）

2 学校長あいさつ

- ・多様な方々との交流により更なる成長へつなげていってほしい

3 平成30年度生徒会活動報告（生徒会長） 笠井生徒会長

- ・挨拶、ボランティアの積極参加、南稜祭の活性化
- ・活気あふれる学校にする

4 諸連絡（教頭）

- ・本日の分散会についての案内

15:50～ 分散会 会議室

(1) 自己紹介

16:35～分散会まとめ

(2) 分散会テーマ

①「長野南高等学校の現状について」 ～地域のみなさんから見た長野南高校は～

A班 おとなしい。まじめ。交通ルールが守れていない。挨拶ができていない。

B班 昔と比べて良くなった。

C班 落ち着いて、挨拶ができています。2列で並走して自転車に乗っている。イヤホンをしながら自転車に乗っている。挨拶をする。

D班 地域に求められるものを具体的にしてほしい。地域の方との挨拶が必要。

E班 挨拶をより大切に → グループで話しあったので考えていきたい。元気よく挨拶していて明るい対応に好感を持っている。

F班 挨拶はどうか？団体ではできるが、個人ではできないのでは。

②「地域との交流について」 ～長野南高校生徒にできること～

A班 活発な挨拶。積極的にボランティアに参加。川中島フェスティバルへの参加。良い交流を。



B 班 ボランティアをする方とお願いする方が、互いに WinWin となる関係を。地域の人から必要と思われる学校に。

C 班 夏祭りや老人ホームなどでボランティア活動をしたらどうか。

D 班 日常生活が忙しくてボランティアに参加できない。ボランティアの依頼先が分からない。

E 班 地域から学ぶことはたくさんある。関わりをより大切にしてほしい。限られた時間の中で、地域の要望をよく聞き話し合いたい。

F 班 地域の歴史などを調べることによって、地域と交流ができる。

③「長野南高等学校の今後について」

A 地元の企業や産業を知って進学等進路を決めてほしい。長野南高校を卒業してよかったと思えるような学校生活を。様々なことに興味をもって。英語が大切。世界に目を向けて。

B 班 全校生徒一人一人が参加するボランティアへ（執行部だけでなく、執行部がリーダーとなって）

C 班 しっかりと考えて行動する。身近な老人にも声をかけてほしい。一人一人が目標をもつ。

D 班 学校から情報発信を。

E 班 希望を持って元気をだして、挨拶などを実践してほしい。若いエネルギーが感じられる学校にしてほしい。基本的なことをしていきたい。当たり前を当たり前にしていく（挨拶や清掃など）

F 班 いろいろな学校と交流をして地域とかかわる。目標を持って地域と交流してほしい。地域は生徒を見て、手を差し伸べて見守るようにしたい。



16:50～ 全体会

7 講評

A～D グループ 中澤様

高校生活を楽しんでいる。大人になって、自分から積極的に挨拶ができるようになってほしい。学校が評価するボランティアと自分自身が評価するボランティアがあり、自分から積極的に行ってほしい。高校生で地域の役員をしている者もいて、自治会でも地域おこしなどに積極的に入ってほしい。留学を前向きに考えてほしい。世界に目を向けてほしい。文化祭で、小学生、中学生、高校生が交流できる場を考えてほしい。自分自身の進むべき道を考えて生活してほしい。魅力ある地域にしたい。南高校の存在感を出してほしい。

E～G グループ 穂刈様

楽しく学校生活を送ってほしい。地域とのかかわりや他校との関わりをもってほしい。何かで有名に。待っているのではなく、自分から行動する。自分を変えていく。なんでも勉強。

8 閉会の言葉 (教頭)

この機会を次どのように活かすか。

